

改選後初めての区議会——昭和58年第一回臨時会が、5月18日から23日まで、六日間の会期で開かれました。

初日の本会議では、まず正副議長の選挙が行われ、続いて常任委員会の委員の選任と、四つの特別委員会の設置、委員の選任が行われました。(3ページ参照)

今回の臨時会では、工事請負契約の締結六件と専決処分承認二件が審議され、すべて全員賛成で可決されました。また、監査委員(議員選出)の選任にも同意しました。

そのほか、区長から専決処分の報告一件、監査委員から監査の報告四件がありました。

第1回臨時会開かれる 新議会がスタート

議長・副議長の就任あいさつ



副議長
47歳 公明党
甲斐 公明 治郎



議長
53歳 自由民主党
山口 昭

現在、区では多様化する区民の皆様のご要望にこたえるため、快適で安全なまちづくりや、美術館、健康村の建設など「ビュートマン都市世田谷」の実現に積極的に取り組んでおります。

一方、経済の低迷が依然として国・地方財政を圧迫し、区民生活や区政を取り巻く情勢は厳しいものがあります。

このような重要な時期に、議長、副議長に就任いたしますことは、光栄に存ずるとともに、使命の重大さを痛感しております。

私たちは、今回の統一地方選挙で区民の皆様から寄せられた信任にこたえるため、議員全員と力を合わせて区政の進展に努力していく所存です。

ここに、就任にあたりましての決意を申しあげ、区民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。ごあいさついたします。



- 議長、副議長の選挙
議長 山口 昭(自民)
副議長 甲斐 公明(公明)
いずれも「指名推選」により当選。
- 常任委員の選任、特別委員会の設置と委員の選任
3ページの構成表のとおり。
- 監査委員(議員選出)選任の同意 二件
原田 正幸(自民)
和田 勉(公明)

第一回臨時会の議決内容

- 北沢中学校体育館・プール増築工事請負契約の締結
契約金額 四億六〇〇〇万円 工期 59年3月24日 体育館プール棟(鉄筋コンクリート造地下一階地上三階建、プールはステンレス製)
- 下水道枝線工事請負契約の締結 五件
○桜上水二丁目付近
契約金額 九四〇〇万円 工期 59年2月29日
○奥沢一・三丁目付近(その3)
契約金額 四億五八〇〇万円 工期 59

みなさんから出された 請願

- 深沢五丁目付近
契約金額 四億六五〇〇万円 工期 59年3月24日
- 深沢八丁目、用賀一丁目付近
契約金額 三億四八〇〇万円 工期 59年3月24日
- 船橋七丁目付近
契約金額 一億七九〇〇万円 工期 59年2月29日
- 専決処分の承認 二件
○特別区税条例の一部改正
地方税法の一部改正に伴うもの。低所得者層に対する住民税所得割を非課税とする措置を存続させたことや、同居特別障害者の配偶者控除、扶養控除を創設したことなど。
- 自動車事故に係る損害賠償額の決定

- 新たに付託されたもの
■企画総務委員会へ付託 一件
○区の行政組織に関する請願
- 環境建設委員会へ付託 九件
○仮称フエザン尾山台マンション建設反対



- 尾山台三丁目11)
仮称第五千歳台ヒコムマンション建設反対に関する陳情(千歳台五丁目6)
- 自由ヶ丘タワウンホーム建設反対に関する陳情(奥沢二丁目40)
- 高層マンション建設反対に関する陳情(桜上水五丁目14)
- 喜多見駅前広場設置に関する請願
- 小田急線喜多見駅北口広場設置に関する請願
- 仮称上野毛マンション建設反対に関する請願(野毛三丁目20)
- 仮称清水マンション建設反対に関する請願(奥沢三丁目29)
- 児童遊園設置に関する請願(池尻四丁目22)

世田谷区議会議員 (五十音順)

()内は党派名 昭和58年6月1日現在



内山武次(うちやまたけじ) (自由民主党)



宇田川国一(うだがわくにいち) (自由民主党)



五十畑孝司(いそはたこうじ) (自由民主党)



石原芳雄(いしはらよしお) (日本共産党)



荒木義一(あらかぎいち) (自由民主党)



甲斐円治郎(かいえんじろう) (公明党)



折居俊武(おりいとしたけ) (民社党)



大場暢子(おおばのぶこ) (日本社会党)



大高定左右(おおたかさだごう) (自由民主党)



大沢孝明(おおさわこうめい) (公明党)



小畑敏雄(こはたとしお) (自由民主党)



小谷 勝(こたにまさる) (自由民主党)



久保田 望(くぼたのぞむ) (公明党)



吉良孝幸(きたかゆき) (自由民主党)



唐沢敏美(からさわとしみ) (日本社会党)



笹尾 淑(ささおとし) (日本共産党)



迫田参雄(さこたみつお) (公明党)



桜井征夫(さくらいゆきお) (日本社会党)



斉藤国男(さいとうくにお) (日本社会党)



小山菊男(こやまきくお) (自由民主党)



鈴木昌二(すずきしょうじ) (自由民主党)



菅田昌宏(すがたまさひろ) (自由民主党)



神宮寿夫(じんぐうとしお) (公明党)



下条忠雄(しもじょうただお) (社会民主連合)



尖戸鉄男(ししどてつお) (自由民主党)



近岡秀輔(ちかおかしゅうすけ) (自由民主党)



田口イシ子(たぐちいしこ) (無所属)



高橋八重子(たかはしやえこ) (自由民主党)



高橋 忍(たかはししのぶ) (日本社会党)



高木正忠(たかぎまさただ) (民社党)



大 千代子(だいちよこ) (自由民主党)



中村大吉(なかむらだいきち) (自由民主党)



中塚 護(なかつかまもる) (公明党)



内藤義雄(ないとうよしお) (自由民主党)



内藤邦雄(ないとうくにお) (日本共産党)



土橋 賀(どばよし) (自由民主党)



土田正人(つちだまさひと) (自由民主党)



平塚信子(ひらつかのぶこ) (公明党)



東 まさ(ひがしまさ) (無所属)



原田正幸(はらだまさゆき) (自由民主党)



原 秀吉(はらひできち) (自由民主党)



浜中光揚(はまなかこうよう) (自由民主党)



長谷川七郎(はせがわしちろう) (民社党)



森 寿(もりひさし) (日本共産党)



宮田玲人(みやたれいにん) (自由民主党)



三井勝雄(みついかつお) (日本共産党)



丸山孝夫(まるやまたかお) (民社党)



本多シズエ(ほんだしずえ) (無所属)



平山八郎(ひらやまはちろう) (自由民主党)



和田 勉(わだつとむ) (公明党)



吉本保寿(よしもとやすひさ) (公明党)



山沢修白(やまさわしゅうはく) (自由民主党)



山崎治茂(やまざきはるしげ) (日本共産党)



山口 昭(やまぐちあきら) (自由民主党)



森田キミ(もりたきみ) (日本社会党)

区議会議員選挙をふりかえって

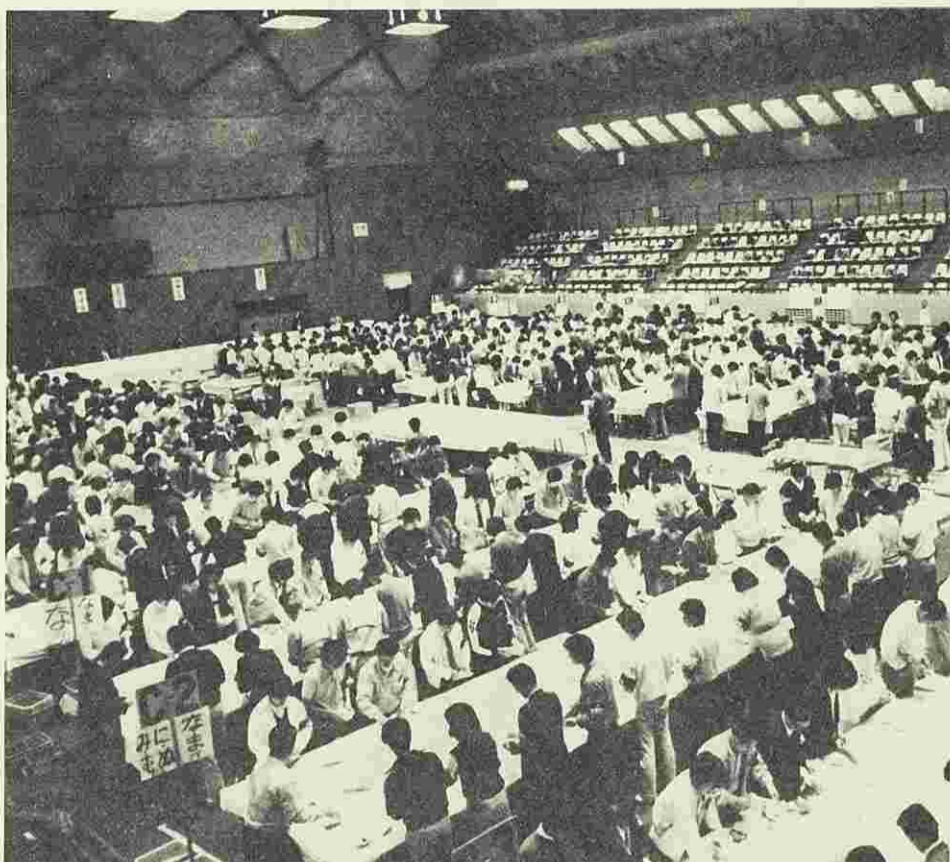
婦人議員が初めて二けた

4月24日に区議会議員の選挙が行われ、世田谷区議会が新たにスタートしました。今回の選挙は、五十五の議席に対して七十三人が立候補し、他区と比べて最も高い「競争率」となりました。

当選者を現・元・新別に見てみると、現職議員の当選は四十二人で前回より七人減ったのに対し、元議員が三人（前回一人）、新人が十人（前回五人）となっています。

党派別の内訳は別表のとおりですが、改選前に比べると、自民党が二議席、公明党が一議席ふやしたのに対し、共産党が二議席、社会党が一議席失いました。民社党、社民連、無所属の議席数は変わりません。

また、婦人議員が二人ふえて十人となり、初めて二けたの人数に達しました。婦人議員の割合は、二十三区で最も高くなっています。



投票率

誠に残念なことです。当区の投票率は男女平均が四五・二七%で、過去十回行われた区議選の投票率の中で最低でした。また、二十三区でも最下位でした。

特に、男性の投票率がきわめて低く、女性の四八・二五%より約六%も低い四二・二〇%でした。

選挙管理委員会は、広報車はもとより、飛行船や軽飛行機を飛ばしたり、防災無線を活用したりして投票を呼びかけるなど、投票率アップに工夫をこらしましたが、残念な結果に終わりました。

得票率

党派別の得票率は別表のとおりですが、新自由クラブが五%近くの得票率で、前回と比べて倍増したことが目立ちました。そのほかの党派は、いずれも一%前後の増減でした。



当選者

最上位当選者の得票数は六、六一〇票、最下位は二、九三三票でした。前回と比べると、最上位の得票数が上がり、逆に最下位の得票数が上がっています。全体的に得票数の差が縮まっており、「激戦」の跡を思わせました。

年齢別に見ますと、最高が七十六歳、最年少が三十一歳で、平均は約五十四歳となり、前回より二歳高くなりました。年代別に見ると、三十歳代二人、四十歳代十三人、五十歳代二十九人、六十歳代八人、七十歳代三人となっています。

続 せたがやの 民話と伝説

文・桜井正信 絵・柳原雅子

農夫宇兵エ 熊野の「土」で 上北沢を救う



上北沢にこのところ、空から灰が降り続けています。田や畑もまるで綿をかぶったようです。

「えらいこっちゃ今年の作物は全滅だ」それはかりではありません。一日に何度も地震が起きて、竹やぶに逃げる始末でした。地面が割れるのではないかと、みんなふるえ上がっていました。

そのうちに、甲州から来た行商人に聞いたというわさが広まりました。「富士山の横っ腹に新山ができ、いま火を吹いている。この様子は、地つづ

きのころにも新山が吹き出るかもしれない」農夫の宇兵エは、ひとりで案じていました。

「これはきつと、村が神や仏から見捨てられたからだ。これでは来年も作物はだめだ」宇兵エは決心しました。家の者にもわからないように、こっそり旅したくをして村を出ていったのです。

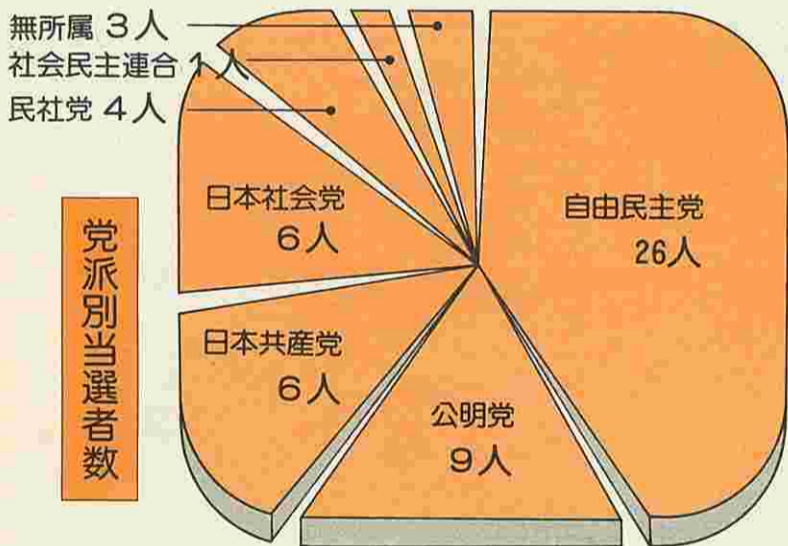
家の人も村人たちも、まじめな宇兵エが突然いなくなったことに気づくと、どうしたのかと心配しました。

宇兵エは村を窺いから救うため、驢をかけたに西国の観音霊場をまわっていたのです。

そして熊野の本宮にも山道をわけて入り、お参りをした社土をもらいました。「この土で灰にけがれた上北沢の田畑を、少しでも清めたい」その一心で宇兵エは熊野をあとに、飛ぶ思いで上北沢に帰ってきました。

家の者も村人たちも、宇兵エが熊野から持ってきた「神の土」をみて、とても

喜びました。さっそく密蔵院の和尚さんにたのんで、その土を八幡神社に埋めました。それからの上北沢は、豊かな実りの土地になったといえます。



党派別得票率 (単位:%)

党派	今回	前回
自由民主党	41.79	43.33
公明党	17.30	16.26
日本社会党	10.68	11.64
日本共産党	10.19	11.29
民社党	6.56	7.85
新自由クラブ	4.85	2.16
社会民主連合	1.43	1.46
無所属	7.20	6.01

編集後記

○新しい区議会がスタートしました。世田谷区をより住みよいまちにするため、新たな感覚での活動が期待されます。

○今回は、新しい議会の構成と議員の名簿を掲載しましたのでお役立てください。

○本会議の様子は公開されています。また区役所一階のロビーにあるテレビでも放映されています。ぜひご覧になってください。

○傍聴や請願の提出など、区議会に関することは、区議会事務局(412)一一一 内線590-597までお問い合わせください。

